

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	体育団体運営支援事業		所管課 【2】	生涯学習課
			評価者(担当者)	富安 崇
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③ 人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(3) 社会体育の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2) 社会体育指導者の育成		
<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】			
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 スポーツ基本法、スポーツ推進委員に関する規則 】			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【			款 10 項 6 目 1 細目 3

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	各スポーツ団体の融和や各種目スポーツの競技力の向上、社会体育指導者の育成を図るためスポーツ団体組織への支援と組織力の強化が必要である。
対象(誰、何に対して) 【9】	玉名市体育協会、玉名市スポーツ推進委員協議会及び熊本県体育協会の活動
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	各競技スポーツの育成及び競技力の向上、地域生涯スポーツの推進と地域間の融和を目的としたスポーツ交流事業の推進による生涯スポーツの充実を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他【 負担金
事務事業の具体的内容 【14】	玉名市体育協会や玉名市スポーツ推進委員協議会等の運営や活動に対して、補助金等を交付し、競技スポーツの競技力向上や選手又は指導者の育成、地域スポーツ活動の普及促進を図る。
	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 玉名市体育協会補助金事業 ② スポーツ推進委員協議会運営事業 ③ 熊本県体育協会スポーツ振興事業 ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金				
		県支出金				
		起債				
		受益者負担				
		その他				
		一般財源	11,974	11,965	13,365	8,494
	【16】 小 計	11,974	11,965	13,365	8,494	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0
	職人 員 の 費	職員人工数	1.25	1.32	1.35	1.35
		職員の年間平均給与額(千円)	5,610	5,424	5,424	5,424
【17】 小 計		7,013	7,160	7,322	7,322	
合 計		18,987	19,125	20,687	15,816	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 玉名市体育協会補助金事業	体育協会全体及び種目協会に補助し、競技力を向上させる。	加入団体数	団体	29	30	30	30
② スポーツ推進委員協議会運営事業	スポーツ推進委員協議会への活動補助を行い、活動の推進を行う。	地域スポーツ活動事業数	本	13	14	13	13
③ 熊本県体育協会スポーツ振興事業	県体育協会への負担金を納め、活動支援を行う。	事業数	本	7	7	17	20
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	
1 県民体育祭総合順位	県民体育祭出場全種目の男女総合順位	位	3	5	4	6
			8	4	11	
2 県民体育祭出場者数	出場選手及び役員数	人	409	390	350	350
			391	359	397	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	体育団体の活動支援を廃止した場合、スポーツ団体との調整、指導者の育成、スポーツの普及活動等に支障をきたしたスポーツの振興が図れない。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	バレーボールが男女優勝するなど、上位入賞する競技も多数あったが、市としては総合11位という不本意な成績となった。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	スポーツ団体のスポーツ活動に関する施策や支援は、地方公共団体の責務として現状のまま維持する。
昨年からの見直し・改善状況【32】	総合型地域スポーツクラブの創設に向け中学校区単位でのクラブ設置の方法等について検討した。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	スポーツ団体への支援や団体との連携により、競技スポーツの組織力の強化や指導者の育成を図る。	評価責任者 板倉 英一
------------------	---	----------------